

令和3年度 道徳教育 全体計画

学校番号	67	下伊那農業 高等学校	全日制 課程	農業 科
------	----	------------	--------	------

学校教育目標	
<学校教育目標(校訓)> 一、 資実・剛健 一、 誠実・堪能 一、 積極・真摯 <中・長期的教育目標> 1 農業や関連産業の持続可能な発展及び地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。 2 農業の持つ教育力を最大限に活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。	
重点目標	
1 地域から信頼・期待されるとともに、安全・安心な学校づくり(教育全体) 地域と歩む本校の100年の歴史・使命及び学校生活の安全・安心の確保が必須であることを踏まえ、南信州の農業・関連産業や文化等の担い手・創り手を育てるとともに、学校事故等の未然防止と危機管理の徹底をとおして、地域から信頼・期待され、安全・安心な学校づくりを推進する。 2 地域や校外との効果的な連携・協働による教育力の向上を図る学校づくり(教育全体) 学校で学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら学んだり、人格の形成や成長を支援したり、専門学習を担い下げて学びを深め、地域・社会の担い手・創り手を育てていくためには、社会に開かれた教育課程の実施が効果的であることを踏まえ、これまでの実績を基盤にして、企業・事業所、自治体・行政、団体、専門家等との効果的な連携や協働を進めるとともに、高校間や学校種等を越えた様々なネットワークの活用をとおして、教育力の向上を図る学校づくりを推進する。 3 命と人権を大切にし、社会性・自律性・主体性を育む学校づくり(人権教育・生徒指導) 昨年度迎えた創立100周年の記念碑に掲げる「命に学び 心を育む」を踏まえ、この精神を私たちの拠り所とし、生徒一人ひとりの心情・境遇に寄り添い、いじめや暴力、非道行爲等のない校風・環境の醸成、基本的生活習慣の確立、マナー・規範意識や人権感覚の涵養をとおして、命と人権を大切にし、社会性・自律性・主体性を育む学校づくりを推進する。 4 基礎・基本の定着と専門力・応用力・実践力の育成を図る学校づくり(学習指導) VUCAの時代(激動(Volatility)、不確実(Uncertainty)、複雑(Complexity)、曖昧(Ambiguity))を生き抜く資質・能力(知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性)の習得が求められていることを踏まえ、基礎・基本を習得する学び、個々に合った自立的な学び、協働的な学び、探究的な学び、生徒と地域・社会が一体となったリアルな学び、感動や発見にあふれたワクワクする学び、ICTを活用した効果的・効率的な学び、今後の農業・産業技術の進展を見据えた学び等の実践をとおして、基礎・基本の定着と専門力・応用力・実践力の育成を図る学校づくりを推進する。 5 一人ひとりのキャリアデザインと進路実現を支援する学校づくり(キャリア教育・進路指導) 社会的・職業的に自立した人間の育成が求められていることを踏まえ、共通教科(国語、地・公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭)と専門教科(農業・生命・環境・食・機械・車・テクノロジー・暮らし・保育・福祉・生活文化・地域振興等)を学ぶ中で、「自分の強みや良さはどこか」、「将来はどのように生きていったらいいのかわかぬ」、「農業・関連産業を進展させ地域振興のためにどんな学び、研究や力が必要なのか」、「地域や社会の中で自分を活かす仕事や役割は何か」といった自らを見つめ、将来をデザインする学びを大切にするとともに、進路実現に必要な能力・資質の定着と伸長や資格取得を促しながら、生徒が主体的に進路を選択して自己の可能性に挑戦する進路指導をとおして、一人ひとりのキャリアデザインと進路実現を支援する学校づくりを推進する。 6 自治の力で充実した有意義な学校生活や学習活動を実現する学校づくり(特別活動) 学校における学びの主体が生徒であることを踏まえ、校友会や農業クラブ・班活動、ボランティア活動等の活性化を図り、生徒が自発的に身近な諸課題を解決したり、全校で協働してよりよい校風や行事等を築いていく自治活動等をとおして、充実した有意義な学校生活や学習活動を実現する学校づくりを推進する。	

道徳教育の重点目標	
<根底に置く考え方> (心の支援課作成) 「人権尊重の視点に立った学校作り」	
○ 人権が尊重される環境づくり (安心して過ごせる学校・教室) ○ 人権が尊重される人間関係づくり (互いのよさや可能性を認め合える仲間) ○ 人権が尊重される学習活動づくり (一人一人が大切にされ、互いのよさや可能性を発揮できる授業)	
	
【この考え方に基づいた本校としての生徒育成目標】 1 下農生としての自覚を持ち、校内外の諸活動を通して、自立的・主体的な行動力を身に付ける。 2 自尊感情を高め、自らを大切に思う気持ちを養う。 3 思いやりの心を持ち、他者を尊重する高い道徳性を育成する。特にいじめを許さない強い心を育てる。 4 集団の一員として、自分の役割と責任を自覚し、健全な集団形成に寄与する態度を育成する。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	校内外での諸活動を通じ、基本的な生活習慣を身につけるとともに、自ら行動する力を養う。また、社会人として必要なマナー・規範意識を養うとともに、人としてよく生きるための資質・能力を高める。	自らの活動を振り返り、自己理解・自己管理能力を身につける。また、自らの適性や進路選択について主体的に考え、諸活動を通じ、キャリア意識を高める。 ※手帳の活用 ※進路講話 ※進路ガイダンス ※アグリフォーラム ※職業体験	学級・学年活動を通じ、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身につける。また、研修等を通じ、社会性を養う。 ※学年行事 ※稲丘祭 ※人権学習 ※性教育講話 ※メディアリテラシー	より自立的な行動に努め、集団の活動がよりよいものになるよう努力する態度を養う。 ※班活動において望ましい人間関係のあり方について ※文化祭で関係する人と話し合いを持ちながら文化祭を作り上げていく。
2年	主体的に行動する態度を養い、人間としてのあり方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身につける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ※進路探究(高校内企業説明会) ※課題研究 ※就業体験活動 ※進路別科目選択	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ※平和学習(見学旅行事前学習) ※薬物乱用防止講話 ※人権学習 ※メディアリテラシー	校内組織において中心的な存在として主体的に行動し目標に実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身につける。 ※班活動の諸行事 ※稲丘祭 ※校友会の運営
3年	社会の諸課題に対して主体的に解決していくとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を養う。	よりよい社会を構成する構成員としての自覚をもち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ※進路探究 ※課題研究	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ※高校卒業後のあり方について ※人権学習(社会生活の中の権利と責任) ※メディアリテラシー	本校の生徒としてだけでなく社会を構成する構成員として自覚し、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ※校友会の運営 ※稲丘祭の運営 ※ボランティア活動

各教科	
国語	言葉による表現活動を通して、他者との関わり合いの中で、互いの意見を尊重しながら伝え合う力を高める。また、文章読解を通して、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を養う。
地理歴史	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。
公民	民主主義の本質に関する理解、現代社会の基本的な問題についての客観的理解、現代を生きる人間としての在り方・生き方について自覚を養う。
数学	数学的な活動を通じ、ものごとを客観的論理的に判断する力をつけ、適切な考え方、行動の仕方を身につける。また、真理を追究する姿勢を養う。
理科	自然と人間との関わりについて認識させ、科学的に探求する態度を養うことで、生命を尊重する姿勢を養う。
保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にできる態度を養う。又、スポーツを通じて社会性を養う。
芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、他者の多様な表現を尊重しながら、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。
外国語	日本文化や外国の事情および異文化について理解を深めることで、多様な価値観を認め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員であるという自覚を持ちながら、生活をより良くしようと工夫し、自らの生き方を考える態度を養う。
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方と態度を養う。
農業	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決できる態度を育てる。また、栽培・飼育などの農業教育を通じて生命を尊重する心を育み、他者をいたわり他者と協働しながら、将来の地域社会のあり方を探究できる職業人を育てる。
総合的な探究の時間	※課題研究にて代替している。

家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた学校を目指し、公開授業、PTA活動、学校評議員会、地域と協同したクラブ活動等を通じ、地域社会との連携を深める。 ・学校からの通信、HP、懇談会、面談等を通じ、学校や生徒の様子を伝え、家庭との連携を深める。また、それにより、生徒の健全な成長を図る。
-----------	--

